

誰かにすすめたくなる、わがまち自慢をお届け

SAKIGAKE

VOL.2

二階堂トクヨ

つよく 優しく 美しく
日本女子体育の母



▲二階堂体操塾で行われた、ろくばくを用いた体操



▲体操塾時代のトクヨ
(中央)と教え子たち



▲平成12年、旧三本木町へ日本女子体育大学から寄贈された「胸像」(三本木総合支所内)



▼「二階堂トクヨ先生を顕彰する会」が三本木地域館山公園前に高さ5.4メートルの大型看板を設置

▲トクヨの留学先、キングスフィールド体操専門学校の体操服で、二階堂体操塾時代から学生が着用していた制服(チュニック)

明治から大正、昭和と女性の社会進出や環境整備に奮闘した二階堂トクヨ。その功績を後世に伝える取り組みが広がっています。

三本木地域住民らでつくる「二階堂トクヨ先生を顕彰する会」では、日本女子体育大学への表敬や「トクヨ通信」の発行、生誕地を示す標柱の設置など

トクヨは、その実力が認められ、2年間のイギリス留学というチャンスに恵まれたのです。

留学先のキングスフィールド熱心に体操を勉強したトクヨは、その実力が認められ、2年間のイギリス留学というチャンスに恵まれたのです。

明治から大正、昭和と女性の社会進出や環境整備に奮闘した二階堂トクヨ。その功績を後世に伝える取り組みが広がっています。

三本木地域住民らでつくる「二階堂トクヨ先生を顕彰する会」では、日本女子体育大学への表敬や「トクヨ通信」の発行、生誕地を示す標柱の設置など

三本木地域出身で「日本女子体育の母」と称される偉人を知っていますか。最近、テレビや新聞などで話題になっています。

そう、大崎市が誇る「二階堂トクヨ」です。トクヨは「女子体育は女らしい優美なものに、母となるべき健康なものに」との思いを胸に、現在の日本女子体育大学の前身となる「二階堂体操塾」を創設しました。

明治13年、旧志田郡三本木村に生まれ、幼少の頃から向学心に燃え、東京女子高等師範学校現お茶の水女子大を卒業。卒業後は、石川県立高等女学校に国語教師として赴任します。国語教師のはずが、最も苦手とする体操も受け持たされるものの、体操で自分自身の体調がよくなっていくことに驚き、熱心に取り組むようになります。国語教師として赴任した学校現お茶の水女子大を卒業後は、石川県立高等女学校に国語教師として赴任します。国語教師のはずが、最も苦手とする体操も受け持たされるものの、体操で自分自身の体調がよくなっていくことに驚き、熱心に取り組むようになります。このことが、トクヨが「女子体育」の道を開いて行く転機となったのでした。

トクヨは、その実力が認められ、2年間のイギリス留学といいうチャンスに恵まれたのです。

トクヨは、その実力が認められ、2年間のイギリス留学といいうチャンスに恵まれたのです。

ド体操専門学校では、体育の技術だけではなく、広い教養を身につけた優れた体育教師を育成しようとする教育方針に感銘を受けます。

大正4年に帰国したトクヨは、イギリスで学んだダンス、体操、スポーツを日本で広めています。クリケット競技とホッケー競技を日本に初めて紹介したのもトクヨです。そして大正11年。トクヨが41歳の時、理想とする体育を実現するため、私財を投げ打つて体操塾を開きます。

学校教育を通して、女性の身体や生理学に応じた最適な指導と、円満な人格形成のための教養向上を目指し、多くの体育指導者や選手を育てて世に送り出しました。昭和3年のアムステルダムオリンピック陸上女子800メートル競技で、銀メダルを獲得し、日本人女性初のメダリストとなりました。人見絹枝も教え子の一人。

トクヨは、その実力が認められ、2年間のイギリス留学といいうチャンスに恵まれたのです。

トクヨは、その実力が認められ、2年間のイギリス留学といいうチャンスに恵まれたのです。

二階堂トクヨ先生を顕彰する会

平成28年12月3日設立(佐藤武一郎会長)。郷土の偉人、時代の先駆者でもあった二階堂トクヨを多くの市民に知ってもらいたい、そして、後世に伝えたい、という趣旨に賛同する地域の皆さんにより設立されました。

本年10月には、日本女子体育大学(健美祭)の表敬訪問や住居跡地への看板設置検討など活動を展開します。

数々の活動を行っています。二階堂トクヨは、現在放映中のNHK大河ドラマ「いだてん」で、女優の寺島しのぶが演じています。顕彰する会の、地道な活動が実を結んだのではないかでしょうか。

皆さんが住んでいる地域にトクヨのような偉人がいると思うと、誇らしく、誰かに自慢したくなりますね。

来年は、生誕140周年になります。皆さんで大崎の偉人「二階堂トクヨ」の功績を全国に広めていきましょう。